

2022  
復活祭

# 復活

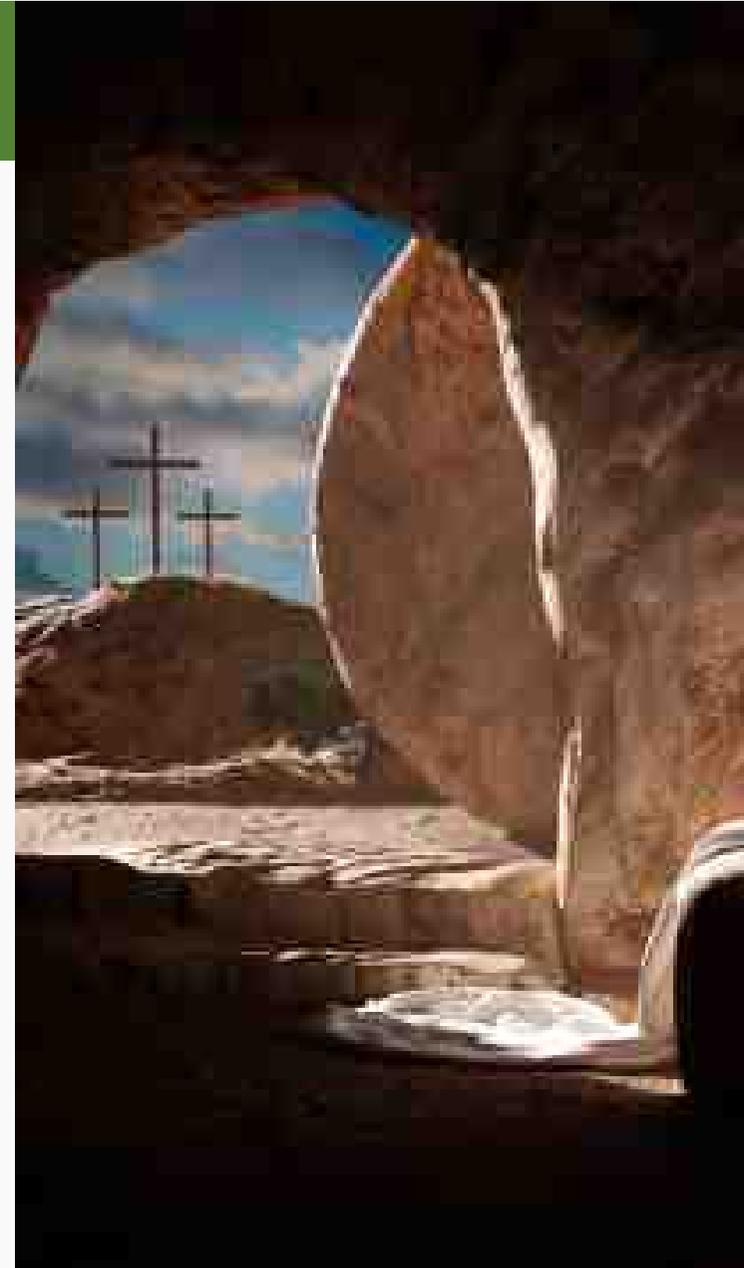
～究極の希望・力・命～

イースター礼拝

黙示録21～22章他

## アウトライン

- I. 預言されていた復活
- II. イエス・キリストの復活
- III. 信じた人の復活
- IV. 信じなかった人の復活
- V. 復活というゴールに向かって



聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある

天地創造

人類の墮罪

キリストの  
十字架の  
死と復活

世界の回復  
(完全な神の国)

キリストの再臨

今の時代(教会時代)

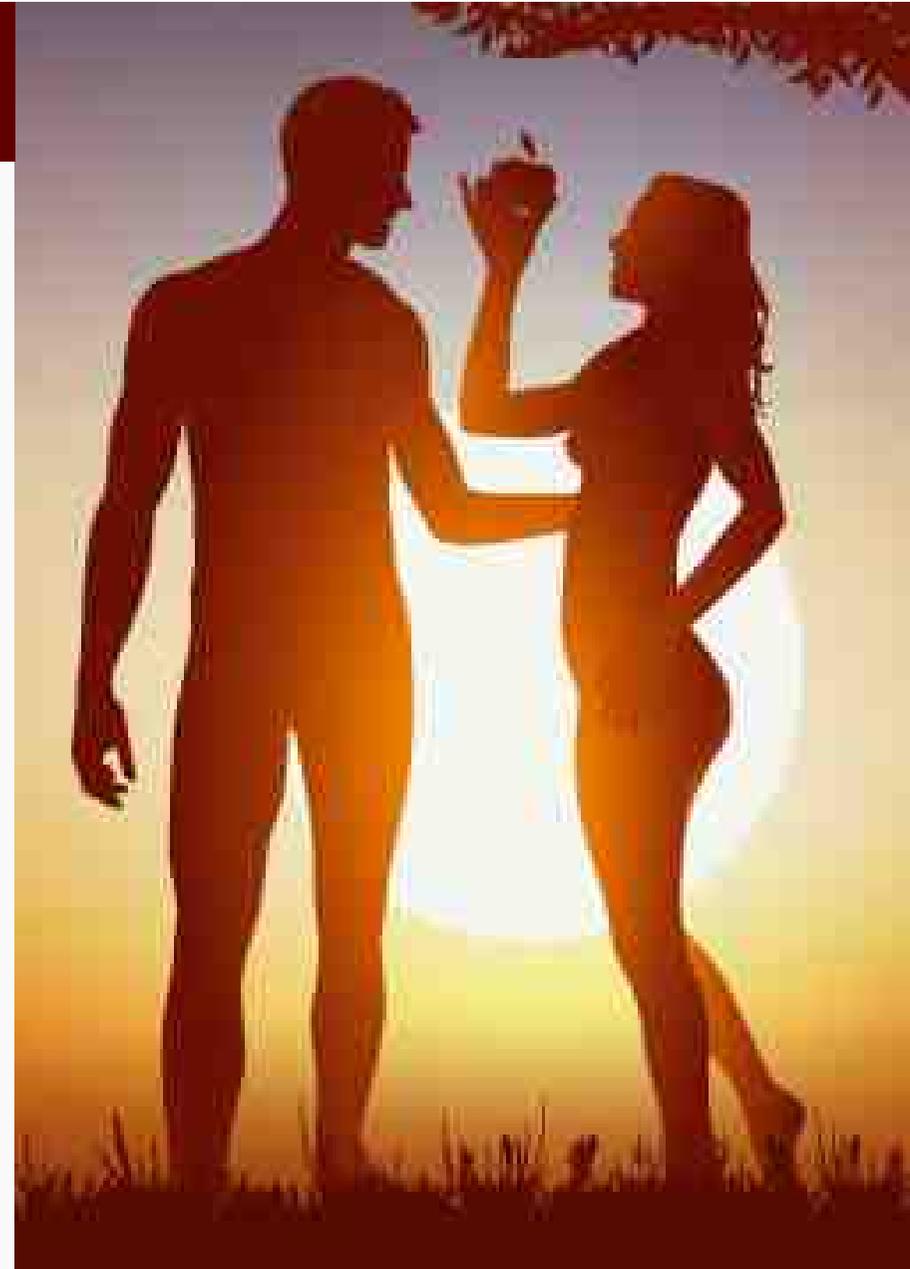




# 1. 預言されていた復活

## 最初の罪

- 最初の人、アダムは、神の約束を破る罪を犯した。
- この瞬間、人は神から断絶された。  
死とは断絶。神と断絶し、霊的に死んだ人は、肉体も死を免れない。
- アダムにつながる子孫、すべての人は、神に断絶され、死んでいる。



## 最初の罪

- 神は、動物を犠牲にして人の罪を贖い、神につながっていられるようにした。
- しかし、動物による贖いは、一時的。罪を覆うだけで、きよめられない。滅びに向かう人を止める力はなかった。
- 神は、人を根本的に救うために、**メシア**（救い主）を送ると約束された。



■ 創世記3:15

わたしは敵意を、おまえと女の間、  
おまえの子孫と女の子孫の間に置く。  
彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼  
のかかとを打つ。

メシアは復活し、勝利される!!

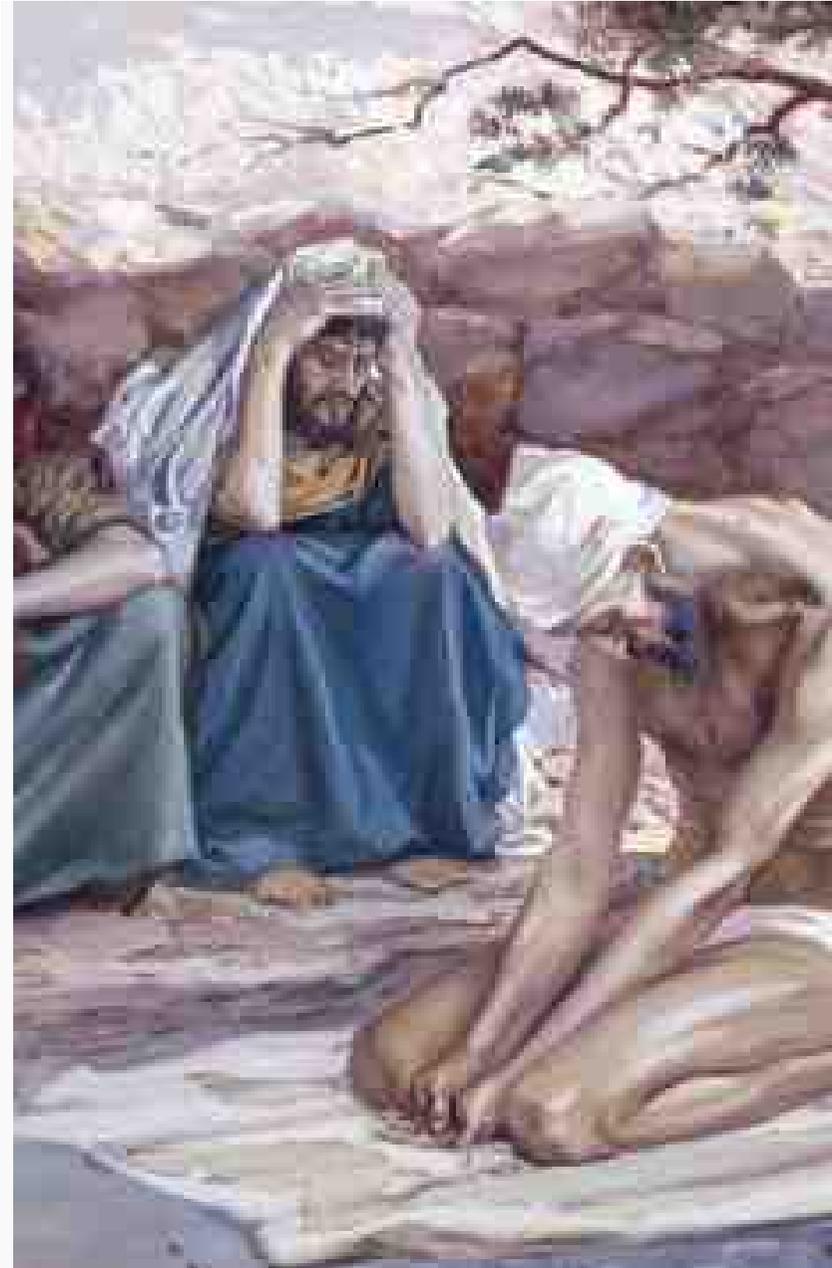
■ 女の子孫として現れる**メシア**は、  
毒蛇(サタン)にかまれる(死ぬ)が、  
**復活**し、サタンに勝利する。



イスラエルの毒蛇

## 苦しむ義人の希望・メシア

- 主を信じた人たちにとって、  
**メシア**が苦しみの中の希望だった。
- 家族も財産もなくし、病気で苦しんだ  
ヨブも、**メシア**が来ると信じていた。
- **復活**の希望が、神からヨブにも示された。



■ ヨブ記19:25

私は知っている。私を贖う方は  
生きておられ、ついには、  
土のちりの上に立たれることを。

■ **メシア**は、私たちの罪をあがない、  
死を打ち破って**復活**される。

**希望は復活のメシアにある!!**



## 復活を信じたアブラハム

- アブラハムは、百歳でやっと生まれたひとり子イサクを、主にささげた。
- アブラハムの子孫は、数え切れないほど増えると主に約束されていた。  
イサクは**復活**する、と信じたのだ。
- 神は、アブラハムの信仰を認め、イサクの命を助けられた。

**本当の身代わりはメシア**



## ■ヘブル書11:17~19

信仰によって、アブラハムは試みを受けたときにイサクを献げました。約束を受けていた彼が、自分のただひとりの子を献げようとしたのです。

神はアブラハムに「イサクにあって、あなたの子孫が起こされる」と言われましたが、彼は、**神には人を死者の中からよみがえらせることもできる**と考えました。それで彼は、比喩的に言えば、イサクを死者の中から取り戻したのです。



アブラハムは  
復活を信じた

## イスラエルの復活の希望

- アブラハムの子孫、イスラエルの民は、主に背いて、国を滅ぼされた。
- 預言者エゼキエルは、死んだ骨のようなイスラエルが、**復活**する幻を見た。
- 人は皆、死んで滅びに至る罪人だが、主を信じる人には**復活**の希望がある。

**メシアがイスラエルの民を復活させる!!**



## ■エゼキエル37:4~6

主は私に言われた。「これらの骨に預言せよ。  
『干からびた骨よ、【主】のことばを聞け。

【神】である主はこれらの骨にこう言う。見よ。  
わたしがおまえたちに息を吹き入れるので、お  
まえたちは生き返る。

わたしはおまえたちに筋をつけ、肉を生じさせ、  
皮膚でおおい、おまえたちのうちに息を与え、  
おまえたちは生き返る。そのときおまえたちは、  
わたしが【主】であることを知る。』」



主がイスラエル  
を復活させる

## イスラエルに拒否されたメシア

- 何百年ものイスラエルの苦難の歴史の後、**メシア**であるイエスが来られた。しかし、イスラエルはイエスを拒否し、回復は、はるかな将来に先延ばしに。
- イエスは、「苦しめられ、十字架で死に、**復活**する」と、弟子たちに告げた。
- 弟子たちは、**メシア**のイエス様が死ぬはずがないと思っていた。



## ■ マタイ20:17~19

さて、イエスはエルサレムに上る途中、十二弟子だけを呼んで、道々彼らに話された。

「ご覧なさい。わたしたちはエルサレムに上って行きます。人の子は祭司長たちや律法学者たちに引き渡されます。彼らは人の子を死刑に定め、異邦人に引き渡します。嘲り、むちで打ち、十字架につけるためです。しかし、**人の子は三日目によみがえります。**」

**メシアは復活を何度も預言されていた!!**



## II. イエス・キリストの復活



■ 捕らえられる晩、イエスは、オリーブ山の  
ゲツセマネで命がけの祈りをささげた。

■ マタイ 26:39

それからイエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈られた。「わが父よ、できることなら、**この杯**をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしが望むようにではなく、あなたが望まれるままに、なさってください。」



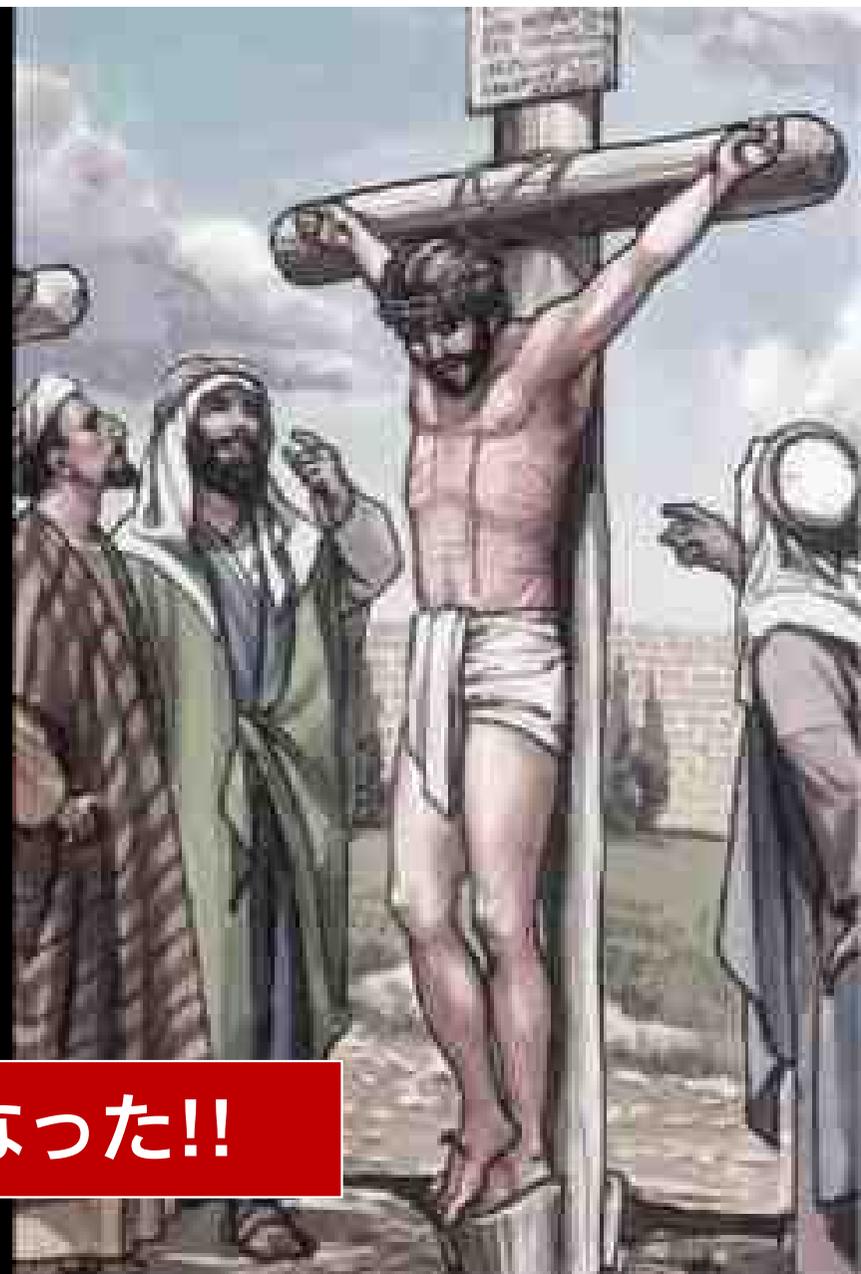
**メシアは神との完全な断絶を決意された**

■ イエスは、全く罪なき身にも関わらず、捕らえられ、十字架にかけられた。

■ 人々は、イエスを嘲り、罵った。

■ イエスは、神の怒りの盃を飲み干し、私たちの身代わりに受けられた。

**メシアが私たちの罪の身代わりとなった!!**

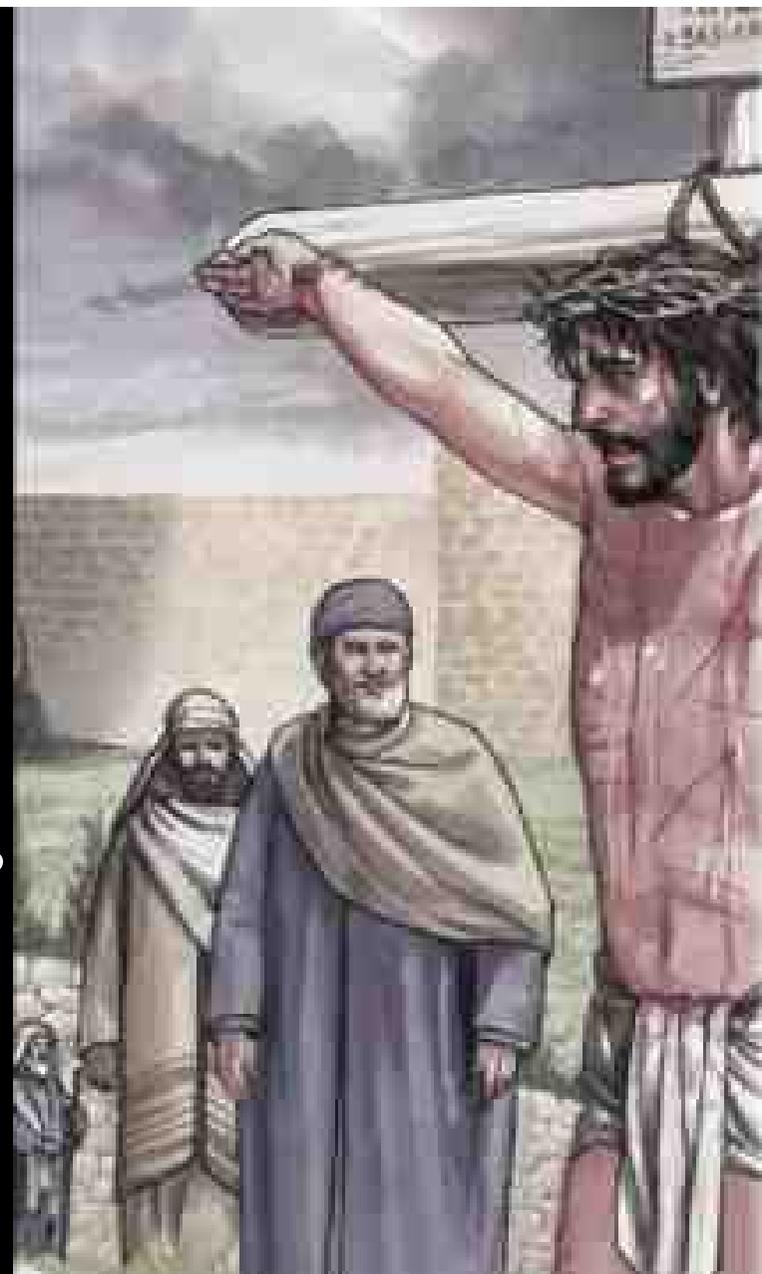


## ■ルカ福音書23:34

そのとき、イエスはこう言われた。「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」

■隣で十字架にかけられていた犯罪人は、イエスをメシアと信じ、救いを保証された。「あなたは、今日、わたしと共にパラダイスにいる」

**メシアは父なる神から断絶された**



- イエスは、最後に「成し遂げられた」と言って死んだ。
- イエスの遺体は、墓に葬られた。

メシアは死んで葬られた



## メシアの復活

- 三日目。弟子の女たちが墓へ行くと、墓はからっぽだった。
- 天使があらわれて言った。「イエスは、ここにはおられません。言われた通り、**復活**されたのです。」
- **復活**したイエスは、他の弟子たちの前にもあらわれた。



メシアは復活された!!



■ **復活**したイエスは、  
最後の教えを伝え終えた後、**昇天**された。  
「行って、すべての人をわたしの弟子に  
しなさい」と、ペテロたちに命じられて。

**復活したメシアは天に昇られた!!**



## ペンテコステ・聖霊降臨

- メシアの**昇天**から10日後、エルサレムで祈っていた使徒たちに**聖霊**がくださった。
- ペテロは、立ち上がって人々に告げた。「あなたがたが十字架で殺したイエスが、メシアなのです」
- 悔い改めた3千人が、イエスを信じた。こうしてイエス様の教会が生まれた。



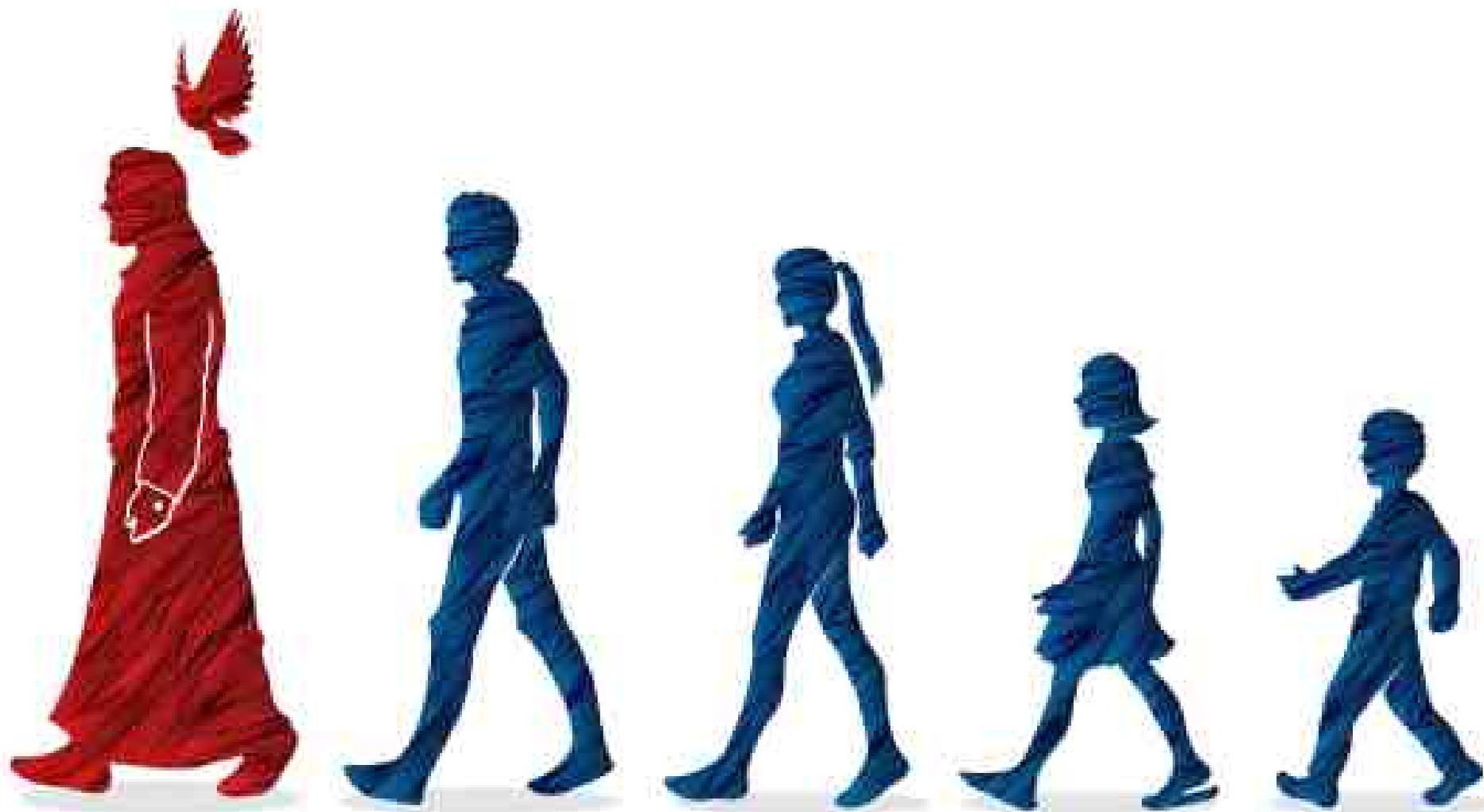
復活したメシアは  
教会を誕生させた!!

## 初穂の祭り・復活の初穂

- 主イエスが**復活**されたのは、春に最初に収穫した大麦の穂を神にささげる「初穂の祭り」の日。
- 主イエスは、「**復活**の初穂」初穂の後には続々と収穫が続く。
- つまり、主イエスに続いて**復活**する人々がいるということ。



それが、復活のイエス様を信じたすべての人々!!



### Ⅲ. 信じた人の復活

## 福音を信じた者は復活する

- 「イエス様が、わたしの罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、死に勝利されて、復活された。」
- この**福音**を信じた人はみな、主イエスのように**復活**する時が来る。

**福音を信じた人は復活する!!**



## 復活の瞬間

- ある時突然、主イエスを信じる者が、生きている者も、すでに召された者も、天のイエスのもとに挙げられる。

→ **携挙** (空中再臨)

- **携挙**された人は皆、その瞬間、**復活の栄光の体**にされている。

- **復活の体**とは、天の国の体。



「終わりのラッパとともに  
一瞬のうちに換えられます」  
コリントー15:52

## ■ローマ書 8:30

神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに**義と認め**、義と認めた人たちにはさらに**栄光**をお与えになりました。

■福音を信じ、神の目に義と認められた者は、主イエスの**栄光**をその身に帯びている。

→復活の体は、栄光の体

■義認から栄化へのこの世の過程が、**聖化**。



## 復活の体とは？

- ① 非難されるところがない!!
- ② 完全!! しみも傷もない!!
- ③ 神を完全に知る!!



復活の体は  
天国の物質でできた  
天国の体

## 復活の体とは？

### ① 非難されるところがない!!

#### ■ 1コリント 1:8

主はあなたがたを最後まで堅く保って、私たちの主イエス・キリストの日に**責められるところがない者**としてくださいます。

■ 主イエスの贖いを信じたがゆえ、  
神の目に義と認められている。



## 復活の体とは？

### ②完全!! しみも傷もない!!

#### ■エペソ5:27

ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった**栄光の教会\***を、ご自分の前に立たせるためです。

➔福音を信じたすべての信者\*



## 復活の体とは？

### ③神を完全に知る!!

#### ■ I コリント13:12

今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、そのときには顔と顔を合わせて見ることになります。今、私は一部分しか知りませんが、そのときには、私が完全に知られているのと同じように、**私も完全に知る**ことになります。



知る(※男が女を知る)  
復活した者は、  
神と完全に結びつく

## ■ローマ人への手紙8:38～39

私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

**福音を信じた者は 義認→聖化→栄化 復活が確定されている**





## IV. 信じなかった人の復活

## 大患難時代 黙示録5章～20章3節

- 携拳の後、七年間の**大患難時代**が到来。
- **大患難時代**は、神による大リフォーム。  
→携拳は、リフォームの間の引っ越し。
- 残された人々は、天変地異の大災厄に。
- 主イエスを信じる人々も大勢出るが、反キリストの大迫害により殉教者も多数。



## イエスの再臨

黙示録19章

- 七年間の**大患難時代**の最後に、イスラエルは悔い改めて、イエスこそ、メシアだと信じる。
- 主イエスは、**栄光の姿で、王の王、主の主**として帰って来られる。
- 最後までイエスを信じなかった者は、サタンや悪霊と共に、死の世界・陰府に落とされる。



主イエスの再臨

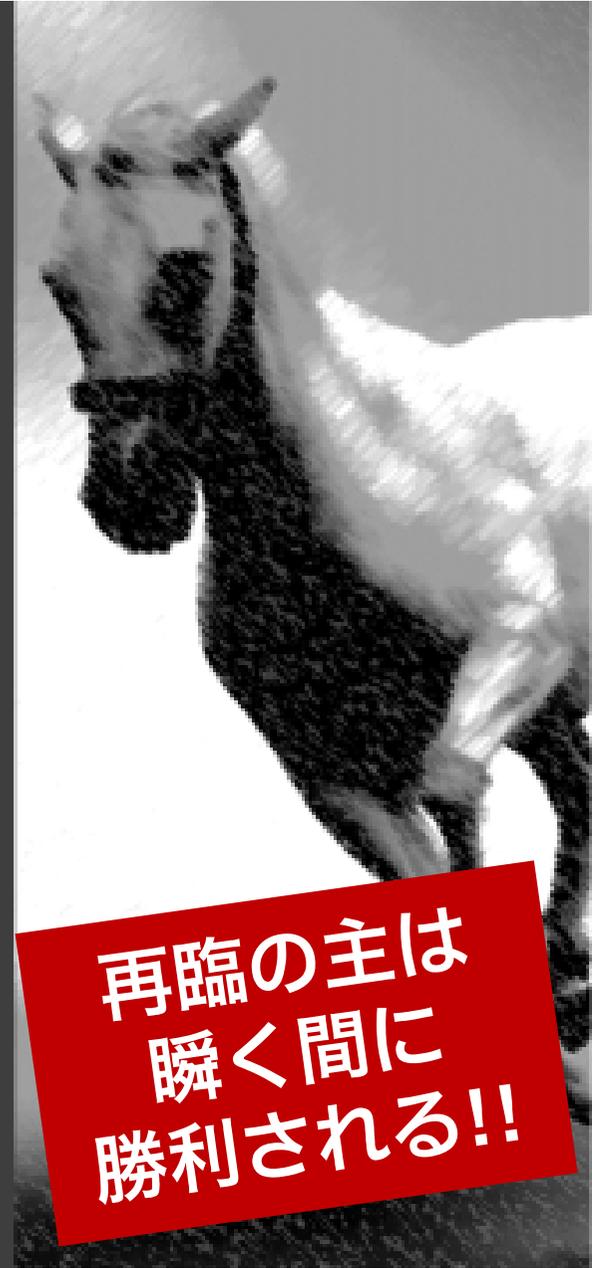
## 【栄光のキリストの再臨】 黙示録19:12~16

その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「神のことば」と呼ばれた。

天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。

この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを牧される。この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。

その着物にも、ももにも、「王の王、主の主」という名が書かれていた。



再臨の主は  
瞬く間に  
勝利される!!

## 白い御座の裁き 黙示録19章

- 千年後、陰府に閉じこめられていた者が**復活**され、主イエスの裁きを受ける。
- 体を与えられて、**永遠の燃える火の池、ゲヘナ**(本当の地獄)に落とされる。  
サタンも悪霊も落とされる。
- 死も陰府も、滅ぼされる。



信じなかった者は  
裁かれるために  
復活する!!

## 【白い御座の裁き】 黙示録20:11～15

「そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。…それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。

これが**第二の死**である。いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。」



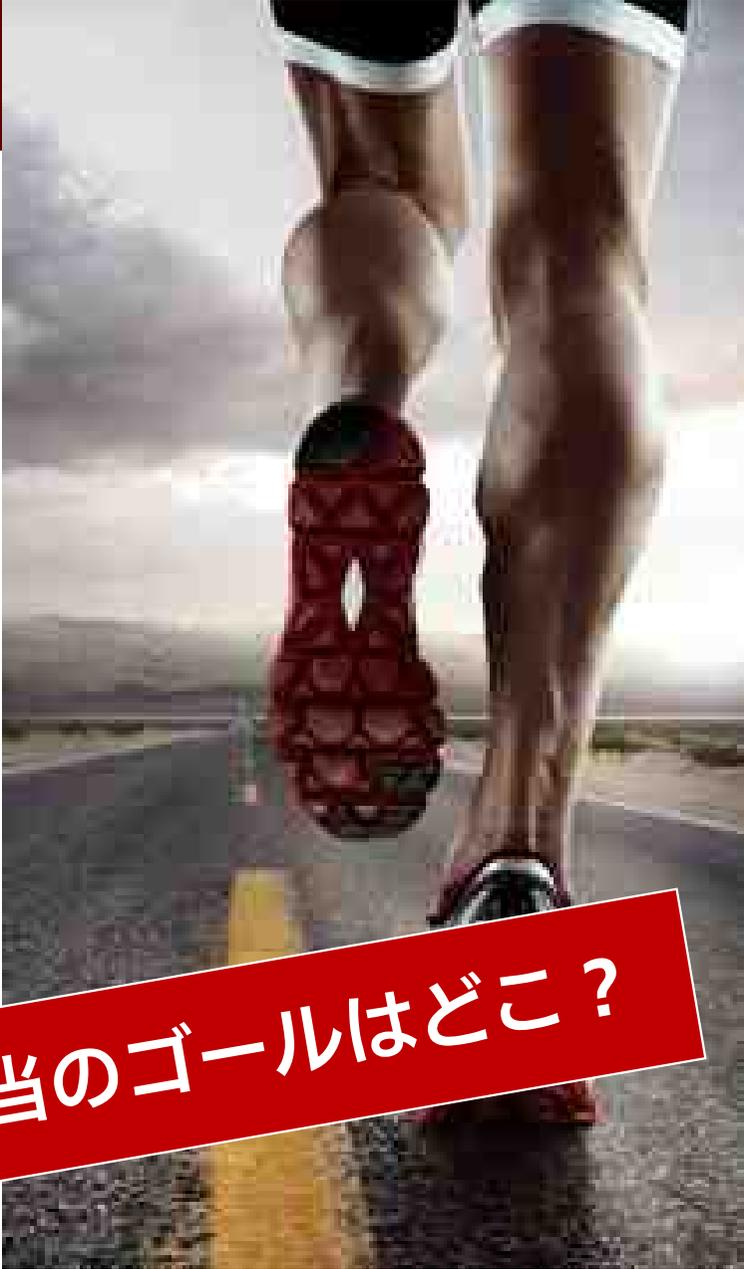
復活した不信者は  
完全に神と断絶  
【第二の死】



## V. 復活というゴールに向かって

## 人生のゴールを知ろう!!

- ゴールの分からないマラソンなど誰が走りたいと思うだろうか？
- ゴールも知らずに走っているのが、私たち人間の現状だ。
- 途中で、投げ出すこともできない。たとえ死んでも命は続く。



本当のゴールはどこ？

## 主イエスだけが知る、本当のゴール

### ■ 黙示録22:13

「わたしはアルファであり、オメガである。

最初であり、最後である。

初めであり、終わりである。」

### ■ 時間も神が造られた。

永遠の栄光のイエスだけが知っている

本当のゴールを聖書が教えてくれている。



永遠とは、時を  
超越していること

## 新天新地 黙示録21～22章

- 主イエスの白い御座の裁きの後、世界は完全に新しくされる。
- 神の住まいである**天のエルサレム**が地上に降りてくる。➡天地が一つに!!
- **天のエルサレム**は、見たこともない宝石で飾られ、光り輝いている。



月と同じくらいの  
立方体

世界が完全に復活する!!

## ■ 黙示録21:4

神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい  
取ってくださる。もはや死はなく、悲しみ  
も、叫び声も、苦しみもない。以前のもの  
が過ぎ去ったからである。

**新天新地にあるのは  
喜びと命と祝福だけ!!**



## 天の都エルサレム

- 天の都エルサレムには、12の門があり、巨大な一つの真珠でできていて、**イスラエル**12部族の名が刻まれている。
- 12の土台には**十二使徒**の名前がある。
- **イスラエル**と**十二使徒**の名前は、永遠に記念される。



## 天の都エルサレム

■ 都には、神殿がない。

**主イエスご自身が神殿**だから。

■ 都には、太陽も月もない。

**主イエスの栄光**が、照らされるから。

■ 暗闇はなく、門が閉じることもない。

すべては主に照らされている。



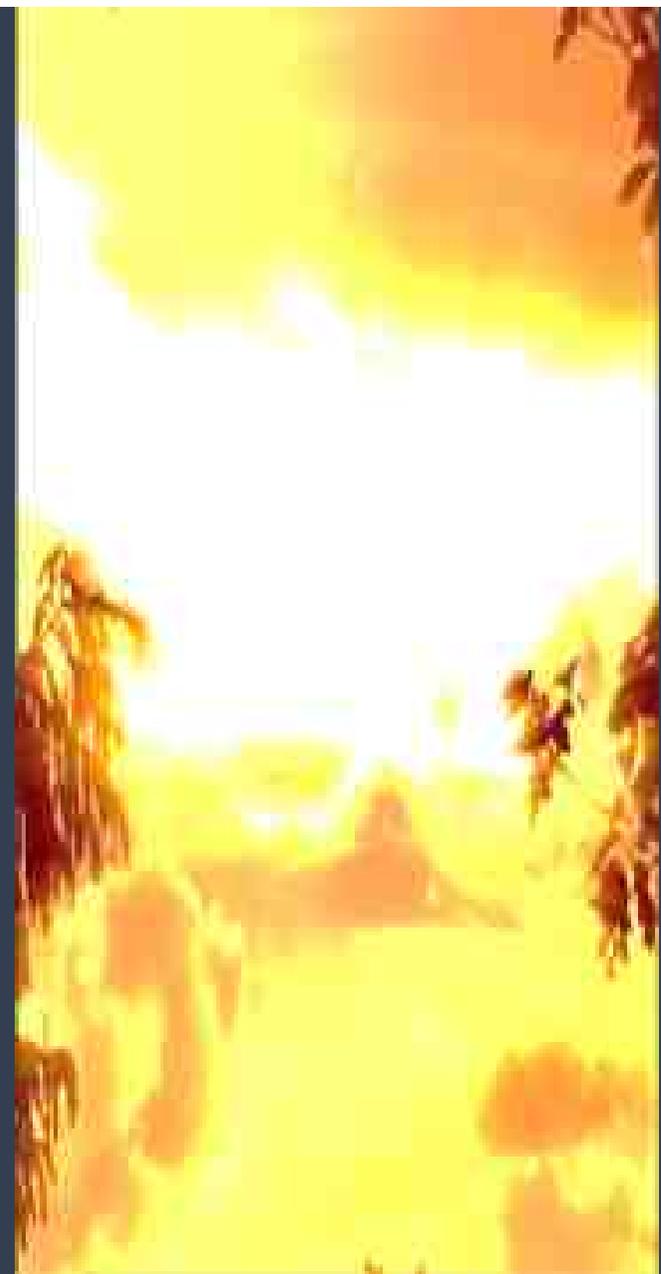
## 【天のエルサレム】 黙21:22～25

私は、この都の中に神殿を見なかった。  
それは、万物の支配者である、神であられる  
主と、小羊とが都の神殿だからである。

都には、これを照らす太陽も月もいない。  
というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が  
都のあかりだからである。

諸国の民が、都の光によって歩み、地の  
王たちはその栄光を携えて都に来る。

都の門は一日中決して閉じることがない。  
そこには夜がないからである。



## いのちの水の川 いのちの木

- 都を光り輝く、いのちの水の川が流れる。  
川のほとりに、いのちの木が生えていて、  
12種類の実を結び、絶えることがない。
- その木の葉は、すべての人を癒やす。  
都に住む人々には、病気も死もない。
- 人々の額には、**主の御名**が刻まれ、  
永遠の王として主と共に都を治める。



## 【天のエルサレム】 黙22:3~5

都の大通りの中央を流れていた。川の両岸には、いのちの木があって、十二種の実がなり、毎月、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。

もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中にあって、そのしもべたちは神に仕え、神の御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の名がついている。

もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは永遠に王である。

★世の終わりのできごと★

【パラダイス】

聖霊  
降臨

教会の携挙

【天上の礼拝】

4章

キリストの  
再臨

【千年王国】

20章4～25節

白い御座の  
裁き

【新天新地】

21～22章5節

【教会時代】

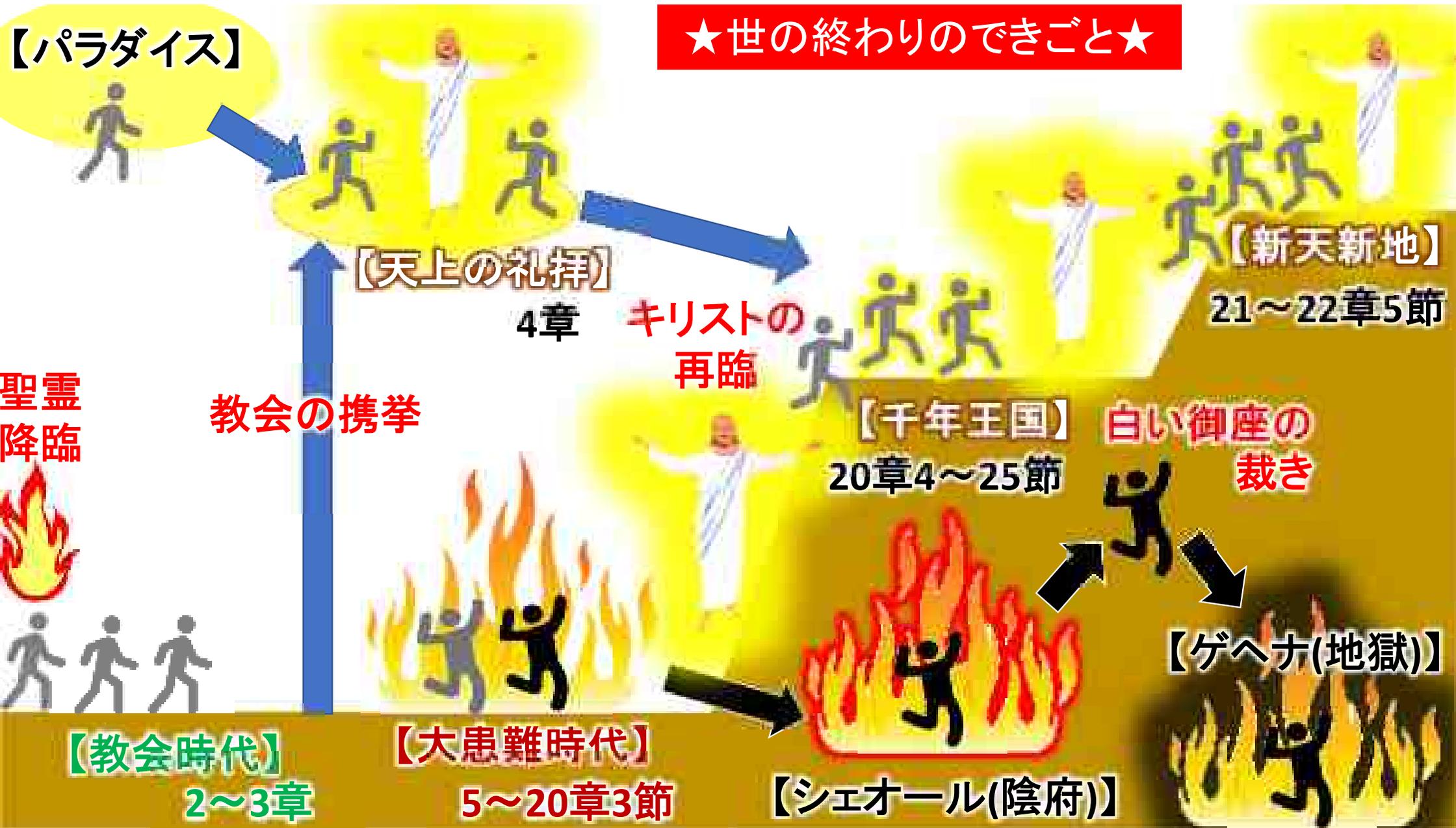
2～3章

【大患難時代】

5～20章3節

【シェオール(陰府)】

【ゲヘナ(地獄)】



## 主イエスの約束を覚えよう!!

### ■ 黙示録22:18~19

私は、この書の預言のことばを聞くすべての者に証しする。もし、だれかがこれにつけ加えるなら、神がその者に、この書に書かれている災害を加えられる。

また、もし、だれかがこの預言の書のことばから何かを取り除くなら、神は、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、その者の受ける分を取り除かれる。



主イエスの約束を  
そのまま信じよう

## 希望はどこにあるのか？

- 「死んでおしまい」なら、希望などない。  
そんな世界では、自らの欲望の限りに  
暴虐を尽くす者が勝者となるだけだ。
- 世のすべての人の悪は、神と断絶し、  
神を忘れたところから生じている。  
絶望の源は、神との断絶に他ならない。
- 真実の救いと希望、力を得たいと望むなら、  
世の人とは真逆の道を選ぶしかない。



## 希望は復活の主イエスにある!!

■主イエスは、十字架で私たちの罪を贖い、復活によって死を打ち破られた。

「それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。(ヨハネ3:16)」

■永遠の命とは、死の断絶からの、神との永遠の回復。永遠の神との回復は、永遠でしかありえない。

死を打ち破った復活の永遠の主イエスだけに、希望はある

## 【天のエルサレム】 黙示録22:10~12

また私に言った。「この書の預言のことばを封じてはなりません。時が近いからです。

不正を行う者には、ますます不正を行わせ、汚れた者は、ますます汚れた者とならせなさい。正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」

「見よ、わたしはすぐに来る。それぞれの行いに応じて報いるために、わたしは報いを携えて来る。

## 主イエスの警告を心にとめよう!!

- 世の終わりが近づくほどに、闇は深まり、光との分断は広がる。  
あなたは、どこに立つのかと、主の問いが鋭く迫り来る。
- 主イエスの復活、信者の復活、世界の復活。  
主が約束され、御使いが告げ、使徒たちが記した**聖書**。  
**主の生きた永遠の命の御言葉**に、堅く立ち続けていこう。

復活の主の御言葉こそ、究極の希望、力、命の源泉

これらのことを証しする方が言われる。

「しかり、わたしはすぐに来る。」

アーメン。主イエスよ、来てください。

主イエスの恵みが、すべての者とともに  
ありますように。

黙示録22:20~22

**復活の主イエスの約束に基づく恵みに堅く立とう。**

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの<sup>つみ あがな</sup>罪を贖うために<sup>じゅうじか し</sup>十字架で死に、

②<sup>はか ほうむ</sup>墓に葬られ、

③<sup>みっかめ ふっかつ</sup>三日目に復活した<sup>しん</sup>こと、を信じます。

<sup>てん</sup>天に昇られた<sup>しゅ</sup>主イエスは、<sup>おう おう</sup>王の王として、<sup>もど こ</sup>戻って来られます。

<sup>ふっかつ からだ</sup>わたしに復活の体をあたえ、<sup>しゅ かんぜん し もの</sup>主を完全に知る者とし、

<sup>かみ おうこく しんてんしんち えいえん す</sup>神の王国、新天新地に、永遠に住まわせてくださいます。

<sup>きぼう ちから</sup>この希望を力にしてください。

<sup>しゅ ふくいん つた</sup>主イエスの福音を伝えるために、<sup>つか</sup>ここから遣わしてください。

<sup>しゅ な いの</sup>主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」